



北海道白樺高等養護学校

コミュニティ・スクールたより

～第4号～

令和6年3月26日（火）

北海道白樺高等養護学校

学校運営協議会事務局

■第4回学校運営協議会

3月12日火曜日、第4回学校運営協議会を開催いたしました。今回は、令和5年度最後の会でした。協議内容としては、令和5年度学校評価の報告、令和6年度グランドデザイン（案）の承認、そして今回も熟議の時間含めた会となりました。今回の熟議テーマは、総合的な探究の時間「地域貢献」についてで、資料をもとに事務局から説明後、グループに分かれ、熟議を行いました。

■令和5年度学校評価結果報告について

今年度の教育活動やその他学校運営の状況について、教職員並びに生徒、保護者の皆様にアンケート調査を行いました。その結果を含めて、学校運営協議会の委員の皆様へ報告をしました。生徒、保護者、教職員アンケート結果全体として概ね良いという結果であったことを御報告しました。また、地域行事への参加や近隣の諸学校と連携するなど、地域との交流が図られたこと等についても触れられ、今後も学校運営協議会を大いに活用し、今後一層地域と連携しさらなる充実を図っていくことを確認しました。



■令和6年度グランドデザイン（案）の承認



令和6年度グランドデザイン（案）について、今年度との変更点等を中心に山本校長より説明後、委員の皆様から御質問や御意見をいただいた後、承認をいただきました。

重点課題については、令和5年度の達成度からの変更であることの説明や「地域貢献」が加わり、地域との良好な関係を築くため、学校が存在する地域への貢献活動を実施し、より地域に根ざした白樺高等養護学校となるよう実践していくことも確認されました。

委員の皆様からは、「グランドデザインにある地域活動に貢献したい」「子どもたちにとってどこで自分を助けてもらえるのかを知ることは大切であると感じている。そういった学びを」「地域はこれまでもたくさん貢献してもらっている。これからも応援をしたい」「生徒の挨拶が素晴らしい。表現力が付いてきている」「他者から拍手をされるなどの満足感や達成感のある活動は生徒の自信や自慢になる。続

けてほしい」等の御感想をいただきました。

■熟議内容

今回のテーマは、次年度実施する総合的な探究の時間「地域貢献」についてです。事務局より説明後、2グループに分かれて熟議を行いました。

次年度3学年の総合的な探究の時間で、地域の方々との対話をとおして、生徒が課題を見だし、その課題を解決するために自分たちでできることを考え、実践するという内容です。

1グループでは、この授業の意図として、生徒達が地域の方と話をさせてもらい、自分たちができることを計画する学習であることを確認しました。よって、「誰に聞くか」「喜んでもらうためには」という視点で話が進められました。地域の困り感として、「キャンプ場までの道路の清掃が必要」「介護施設等の非常階段の除雪やおおぞら保育園の除雪」「研修センターで年7回高齢者に弁当を作って配っているが参加者が少ない」「仁木委員であれば新たなアイデアや講師として適任な方を紹介していただけないか」などのお話を伺うことができました。



2グループでは、「中学校では12名の方に来ていただき、ソクラテスマーティングをしている。話をうかがい、感想を述べるとても良い授業であるが、さらに生徒たちが考えて行うことを、「探究の時間」に行うことに大きな意義がある。WIN-WINで継続することが大切。自己肯定感が上がる取組である。」「清掃などでは安全面に

配慮した社会貢献であってほしい。また、コミュニケーションの力が向上する活動である」「子どもたちのコミュニティは狭い。よって現実味のある世界が広がる良い機会と思う。話し合いの中で「考える」ことを中心にした活動となるように期待したい。」等の御意見を伺うことができました。皆様からの御意見を参考にいたします。



■今年度5回活動ができました

今年度は、4回の会議および「しらかば店」への参加を含め5回活動を行うことができました。このほとんどを熟議として時間設定し、委員の皆様と話し合いを進めていくことができました。1年間ありがとうございました。

今回は、次年度の日程等につきましては改めて御連絡いたします。どうぞよろしくお願いいたします。
